

平成30年度 事業報告について

能美市シルバー人材センターとして、一般家庭や企業からの注文、能美市など公共機関からの施設管理、草刈・草むしりなどの依頼に対し、それらの仕事を請負うことのできる会員の確保、さらに新規会員の増加を目指してきました。

しかし、定年延長や人手不足で入会される会員の年齢が高くなる傾向にあり、草刈、剪定などに従事される会員の確保が課題となりました。そうしたことが要因で、受注に対応できない事態も発生しました。また、急激な天候の変化に対応できない状況での受注辞退や延期などもあり、厳しい受注状況でもありました。会員の増加が全国的に求められ、能美市シルバー人材センターでも啓発活動、イベントの開催などを通じてシルバー人材センターを多くの方々にご紹介できたと考えています。

会員の増加については、会員による入会者の紹介を即したり会員同士の情報発信のためのシルバーだよりを昨年度から発行し、年2回発行をすることもでき、全会員に配布することができました。

本年度の受託事業実績は受託件数で2,458件となりました。就業延人数は37,625人で0.5%減、就業率は79.5%で前年比1.5%減少しました。

契約金額は1億3,719万円余りで、内訳は公共関係で約3,738万円、民間事業所で約6,123万円、一般家庭で約3,656万円、独自事業で約202万円となり、対前年度約108万円の減額となりました。

一般労働者派遣事業においては、契約件数292件で、就業延人数は14,415人、契約額は5,729万円余りとなりました。内訳では公共関係で約3,020万円、民間事業所で約2,709万円となりました。今後も適正な就業を念頭に引続き努めていく必要があると考えています。

会員の働きやすい環境と安全性を高めるために職群班との連絡調整にも配慮しながら円滑な運営に努めました。また、会員全員を対象にした安全適正就労に係る研修会を初めて開催し、会員の安全に対する意識向上に努めました。

会員数については、前年度末432名に対し、平成30年度末は424名と8名（男9名減少、女1名増加）減少しました。会員全体の平均年齢は73.3歳と前年度に比べ若干上がっています。男女別では男性が73.6歳、女性が72.9歳で、会員の最高年齢は87歳です。粗入会率は市の60歳以上の人口15,377人に対し2.76%となっています。

以下、事業実施状況の概要を報告いたします。

1. 会員の加入状況

単位：人

年 月 日	男	女	計	摘 要
平成30年3月31日	268	164	432	
中途入会者数	31	18	49	
中途退会者数	40	17	57	
差引き増減	△9	1	△8	
平成31年3月31日	259	165	424	対前年8人減

(地区別会員数)

単位：人

区 分	男	女	計	摘 要
根上地区	100	88	188	
寺井地区	83	50	133	
辰口地区	76	27	103	

計424人

2. 受託事業の実績

単位：円

	平成30年度	平成29年度	差 引	前年度比
受注件数 (件)	2,458	2,723	△265	△9.7%
就業延人数 (人)	37,625	37,832	△207	△0.5%
契約金額 (円)	137,191,187	138,273,267	△1,082,080	△0.7%
就業率 (%)	79.5	81.0	△1.5	△1.8%

(契約金額の内訳)

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	差引	前年度比
公共	37,369	39,636	△2,267	△5.7%
民間事業所	61,231	58,606	2,625	4.4%
一般家庭	36,566	38,614	△2,048	△5.3%
独自事業	2,025	1,417	608	42.9%
合計	137,191	138,273	△1,082	△0.7%

3. 一般労働者派遣事業の実績

	平成 30 年度	平成 29 年度	差 引	前年度比
契約件数 (件)	292	183	109	59.5%
就業延人数 (人)	14,415	14,559	△144	△0.9%
契約金額 (円)	57,297,434	58,486,771	△1,189,337	△2.0%

(契約金額の内訳)

(単位：千円)

	平成 30 年度	平成 29 年度	差 引	前年度比
公共	30,208	32,892	△2,684	△8.1%
民間事業所	27,089	25,594	1,495	5.8%
合計	57,297	58,486	△1,189	△2.0%

4. 安全・適正就業の徹底

(1) 会員の安全・適正就業の向上を図るため、安全委員会を中心に会員への安全就業への周知、会員が作業中のところへのパトロールを実施し、安全への点検を実施しました。また、小松市管内での県連合会との合同の現場巡回パトロールにも参加しました。さらに、県連合会事務局次長を講師に迎え、全会員対象の安全講習会を実施しました。

安全標語の募集については 16 人の会員から 41 点の応募作品があり、安全委員会で審査の結果、優秀作品 5 点を県シルバー連合会へ提出しました。

(2) マイクロバス安全運転研修会の実施

マイクロバスを運転する場合、加齢によって生ずる体力の衰えが反射神経や動体視力等に影響します。不注意、油断等に起因する事故を防止するために、七尾自動車学校の教官を講師に迎え、人的輸送業務に携わる会員 21 名が安全運転研修を受講しました。

(3) 事故発生件数

事故件数は 1 件増加しました。入院に至ったけがなどが発生しました。

重篤な状況にならなかったものの、少しの気の緩みで重大な結果になりうる事故もあり、無理せず、安全を確認して作業に携わることに心掛けていくことが重要であります。事故件数の上位を占める蜂刺されなどには、十分注意しながら事前の安全確保をしながら作業にかかるよう注意喚起をしました。

事故発生件数	
傷害保険事故	3件
賠償責任保険事故	6件
その他事故	5件

5. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの啓発宣伝とボランティア活動を兼ねて下記の活動を実施しました。

(1) 能美市の各地区で開催されたスポーツフェスティバルにおいて、会員、事務局職員が啓発用ティッシュを配布しました。

(2) 市の広報誌による会員募集などで市民に周知しました。

(3) 恒例となりました「感謝祭イベント」をシルバー人材センター前広場で開催しました。市の協力で事前の宣伝効果もあり、多くの市民の皆様にご来場いただき、独自事業で栽培した「加賀丸いも」やゆず同好会が収穫したゆず、会員が育てた野菜の直販を行いました。そして、会員による丸いも入りつきたて餅や、丸いも入り豚汁を振る舞いました。

会場の設営や振る舞いサービス面、野菜販売の数量などでの課題があり、次回の開催に向け、会員みなさんでより良いイベント開催ができるよう実行委員会を通じて検討し、効果のあるイベントが開催できるよう努力していきます。

(4) 12月28日、各地区会員が門松づくりを行い、市役所本庁舎、能美警察署、能美消防本部、根上総合文化会館、寺井地区公民館、辰口福祉会館、里山の湯、物見山体育館、クアハウス九谷の9カ所に門松を設置しました。新聞記事にも取り上げられ、センター事業の啓発とPRに効果がありました。

(5) シルバー会員有志が管理し、栽培するゆず山は、会員による同好会で運営していますが、同好会会員の減少で管理が厳しくなっており、シルバー全体の問題となって来ました。今後は、会員の理解を得ながら、市農林課、国造ゆず生産組合と連携しながら、ゆず山の管理に努めていかなければならない状況となりました。

6. 独自事業「加賀丸いも」栽培の実施

加賀丸いも栽培は、40アールの作付け分の収穫を終えました。

丸いも出荷量はJA根上へ3,989kg、個人・団体の顧客には1,576kgを販

売し、ほぼ全収量を完売することが出来ました。売上額は2,939,040円となりました。

7. 就業機会の拡大

地理的表示保護制度（GI）に登録された「加賀丸いも」による地域就業機会創出・拡大事業として、休耕田での丸いもの自主栽培や栽培農家の人手不足を担っていくことを目指す国の事業として取り組み、JAと連携し品質の向上と収量の拡大に努めました。

高齢者の雇用・就業機会の確保を図るための方策の一つとして、55歳以上で就業意欲のある人を対象に「技能講習会」を県連合会と連携して能美市寺井地区公民館で実施しました。

講習会等名	実施日	日数	受講者数
公園施設管理講習	5月9日～5月15日	5日	10名

尚、技能講習を受けたものの就職できなかった受講者に対しシルバー会員登録をお願いするなど勧誘活動も行ないました。